

# カロム倶楽部 第56号

2010/9/5 発行: 日本カロム協会 広報渉外部会

〒522-0063 滋賀県彦根市中央町3-8 彦根商工会議所3F TEL(0749)22-7522/FAX(0749)22-9018

http://www.biwako.ne.jp/~carom E-mail carom@pop.biwako.ne.jp

## お待ちかね! レーティング・ポイント・ランキング発表

### 門野裕司氏、12戦無敗で首位返り咲き。トーナメント戦優勝のW栄冠。

奥居聡氏7勝3敗で首位陥落。門野等氏・悟氏が、ともに対奥居戦勝利で援護射撃となる!

キターーッ! 古川慎次氏、トーナメント戦準優勝を手土産に、いよいよTOP10初見参!

山本有里氏・門野隆氏、ともに不調で大きくポイントダウン。湯谷淳一氏、8戦中1敗と堅実路線で更なる上位を虎視眈々。

第55回順位	第55回レーティング	氏名	第54回順位	第54回レーティング	第53回	第52回
1	1,495	門野裕司	2	1,445	2	2
2	1,432	奥居聡	1	1,501	1	1
3	1,380	門野純也	3	1,380	5	6
4	1,332	湯谷淳一	5	1,299	8	9
5	1,322	角田浩司	4	1,322	4	4
6	1,278	秦滋	6	1,278	6	5
7	1,244	奥居美加	7	1,223	10	11
8	1,231	古川慎次	14	1,149	17	18
9	1,219	國武博之	9	1,219	16	16
10	1,212	門野勉	8	1,221	9	8

## 次回定期総会の案内

日時: 2010年12月5日(日)  
 時間: 13:30~総会(受付13:00)  
 会場: 文教スタジアム5Fコンベンションホール  
 ※会場変更の場合あり。HPにてご案内致します  
 定期総会参加費: 300円(ひとり)  
 おつりの要らないように小銭をご準備願います。  
 会場には駐車場がございません。  
 公共交通機関をご利用下さい。

第55回順位	第55回レーティング	氏名	第54回順位	第54回レーティング	第53回	第52回	第55回順位	第55回レーティング	氏名	第54回順位	第54回レーティング	第53回	第52回
11	1,206	門野等	17	1,135	12	12	37	1,007	田中利和	38	1,007	40	40
12	1,167	古川弘樹	11	1,167	13	13	38	999	定光秀郎	39	999	41	41
13	1,165	田島一成	12	1,165	14	14	39	975	山本有理	29	1,041	30	28
14	1,161	小水元	13	1,161	15	15	40	974	馬淵加奈恵	41	974	42	42
15	1,140	ケンシロウ	16	1,140	18	19	41	966	門野隆	10	1,171	7	7
16	1,122	門野悟	15	1,143	11	10	42	959	辻本龍男	42	959	44	44
17	1,102	若林良仁	18	1,102	19	20	43	952	柳圭二	44	952	45	45
18	1,092	門野文哉	20	1,072	21	27	44	951	筒井一男	45	951	46	46
19	1,091	安居輝人	32	1,027	33	33	45	946	西村忠生	46	946		
20	1,077	岡村博之	19	1,077	20	21	46	940	井戸大志	47	940	47	47
21	1,075	森下博	27	1,046	28	26	47	936	湯谷ひろみ	48	936	43	43
22	1,063	門野大河	21	1,063	22	23	48	924	浜口ふゆ	49	924	48	48
23	1,062	大須賀貴幸	22	1,062	32	35	49	919	馬淵有加里	50	919	50	50
24	1,055	浅野輝	23	1,055	24	32	50	918	浜口浩一	43	953	49	49
25	1,054	安田良介	24	1,054	25	22	51	913	馬淵紗也加	51	913	51	51
25	1,054	竹腰裕紀	24	1,054	25	24	52	908	浜口知奈	52	908	52	53
27	1,047	安田佳代子	26	1,047	27	25	53	894	古川夏帆	53	894	53	54
28	1,043	馬淵克一	28	1,043	29	28	54	881	福富正子	54	881	54	52
29	1,041	福富敬雄	29	1,041	23	17	55	876	馬淵加寿美	55	876	55	55
30	1,035	古川正夫	31	1,035	31	30	56	864	角田龍也	56	864	56	56
31	1,032	井戸真也	39	999	37	31	57	857	太田英史	57	857	57	57
32	1,024	中川一志郎	33	1,024	34	34	58	848	鈴木則成	58	848	58	58
33	1,018	若林拓	34	1,018	35	36	59	843	猪飼弘実	59	843	59	59
34	1,015	吉村颯	35	1,015	36	37	60	802	若林武和	60	802	60	60
35	1,012	川合四郎	36	1,012	38	38	61	715	木村浩一郎	61	715	61	61
36	1,011	井戸美沙希	37	1,011	39	39							

(監修: 事業部会)

# 湖畔を彩るパックの響き

コトの発端は新聞記事。しかも、乱立するスーパー・マーケットの売り出しや、裏面の利用価値があるパチンコ店のど派手なチラシと一緒に折り込まれていた「地域情報版」の片隅に小さく採り上げられた、同好会の新メンバー募集記事だった。

言っては何だが、自他共に認める「本家」としては、そんな極小の記事さえも素通りすることは許されない。ましてや、広報渉外の任を受け持つ小生としても、特命ミッション遂行のためのまたとないチャンスでもある。メンバーを選抜して、「道場破り」を目論んだ。

つもりだったのだが、当日大津に向かったのは僕ひとり。双肩にズシッと押し掛かるプレッシャーをはねのけるように車のアクセルをビューンと踏み込んだ。もちろん、制限速度を超えない範囲を目安として。



「大津カロム同好会」の集会は、毎月第2土曜日午後7時から行われている。取材にお邪魔した8月は、お盆休みと重なるために第3土曜日に変更されていた。会場は、大津市立膳所市民センターで、住所は大津市本丸町となっている。湖岸道路・近江大橋西詰を南進、右にバーガー・ショップを見つけたら左手に注意する。本丸町という地名から安易に想像できるのだが、膳所城跡公園が見えたら、真ん前の信号で右折、すぐ左側の建物が目的の場所だ。

土曜日の仕事を終えて急いで出発したが、15分ほど遅れてしまった。大津市膳所市民センターの駐車場に車を止め、取材用デジタルカメラの電池をチェックして玄関扉の前に立った。自動ドアの表示があるが、電源がオフになっているのか全く反応しない。仕方がないので、過去の経験から、ガラスとガラスの隙間に指先をこじ入れて左右に拡げることにした。しかしドアは、僕の言うことを聞いてくれない。それどころか思い切り反抗しているように感じた。「今宵の敵は手強いぞ！」無機質なガラス製のドアが囁きかけたような気がした。開かずのドアと格闘した僕の指先は、いつものクリアな感覚を取り戻せなかった。



土曜日の仕事を終えて急いで出発したが、15分ほど遅れてしまった。大津市膳所市民センターの駐車場に車を止め、取材用デジタルカメラの電池をチェックして玄関扉の前に立った。自動ドアの表示があるが、電源がオフになっているのか全く反応しない。仕方がないので、過去の経験から、ガラスとガラスの隙間に指先をこじ入れて左右に拡げることにした。しかしドアは、僕の言うことを聞いてくれない。それどころか思い切り反抗しているように感じた。「今宵の敵は手強いぞ！」無機質なガラス製のドアが囁きかけたような気がした。開かずのドアと格闘した僕の指先は、いつものクリアな感覚を取り戻せなかった。

「何とかなしてこの状

況を打破せねば」と少しばかり焦りを感じた。その時、玄関の右側に別のドアがあるのを見つけた。過去の経験から、これが「夜間通用口」であることを瞬時に認識した。しかし、ドアノブは右にも左にも回転することを拒んだ。「いったいどうなってんだあ」記事に載っていた携帯番号にリダイヤルするが、何度呼んでも通話にならない。建物の横には交番があり、別に犯罪を企てているわけではないのだが、「チョット君ッ」と声を掛けられやしないかびくついてしまう。警官がこちらの存在に気付くまでに、建物の裏側を調べてみることにした。折しも土曜日の夜。裏通りでは、いつまで続くか判らない猛暑に疲弊した家族が、もうすぐ終わってしまう夏休みを名残惜しそうに線香花火に興じているように映った。大津市膳所市民センターへの入口を探す僕の姿は、あの家族にはどう映ったんだろう？

建物の側面や裏側にも、それらしき入口は隠されていなかった。途方に暮れた僕は再び正面玄関に戻っていた。リダイヤルするが結果は同じこと。今回の取材は諦めて、センターへの入り方をしっかり聞いて出直そうと決めかけた瞬間、自動ドアの左側にも右側と同じようなドアが取り付けられていることに気付いた。すっかり汗まみれになっていた右手で恐る恐るノブを回した。カチャという軽い音とともにドアが開いた。

「絶対入場不可」という局面から脱出し、湯谷淳一さん・山本有理さんといった見慣れた顔に出くわして、しかも大津カロム同好会の主宰が道海美紀さんだったことで、すっかり安堵しきった僕は、手際よく取材を済ませ、第23回カロム日本選手権大会が10月17日に変更になったことを告知し、冷たいお茶などもご馳走になり、和気あいあいと自己紹介でうち解け合い、ルール面での宿題をもらい、カロム普及拡大とネットワーク化の新たな展開も示唆いただき、「本家」であることや「道場破り」などすっかり忘却してしまっ、マジ真剣勝負で中学生相手に☆2つを献上するという大盤振る舞いを演じてしまった。何はともあれこの夜、僕に立ち向かってきた最強の敵は、大津市膳所市民センターの自動ドアだったということで、すべてが夜空に輝く満月のように丸く収まる気がするのである。それにしても、「恐るべし。大津市膳所市民センター！」いや違う。「恐るべし。大津カロム同好会！」

「何とかなしてこの状

況を打破せねば」と少しばかり焦りを感じた。その時、玄関の右側に別のドアがあるのを見つけた。過去の経験から、これが「夜間通用口」であることを瞬時に認識した。しかし、ドアノブは右にも左にも回転することを拒んだ。「いったいどうなってんだあ」記事に載っていた携帯番号にリダイヤルするが、何度呼んでも通話にならない。建物の横には交番があり、別に犯罪を企てているわけではないのだが、「チョット君ッ」と声を掛けられやしないかびくついてしまう。警官がこちらの存在に気付くまでに、建物の裏側を調べてみることにした。折しも土曜日の夜。裏通りでは、いつまで続くか判らない猛暑に疲弊した家族が、もうすぐ終わってしまう夏休みを名残惜しそうに線香花火に興じているように映った。大津市膳所市民センターへの入口を探す僕の姿は、あの家族にはどう映ったんだろう？

建物の側面や裏側にも、それらしき入口は隠されていなかった。途方に暮れた僕は再び正面玄関に戻っていた。リダイヤルするが結果は同じこと。今回の取材は諦めて、センターへの入り方をしっかり聞いて出直そうと決めかけた瞬間、自動ドアの左側にも右側と同じようなドアが取り付けられていることに気付いた。すっかり汗まみれになっていた右手で恐る恐るノブを回した。カチャという軽い音とともにドアが開いた。

「絶対入場不可」という局面から脱出し、湯谷淳一さん・山本有理さんといった見慣れた顔に出くわして、しかも大津カロム同好会の主宰が道海美紀さんだったことで、すっかり安堵しきった僕は、手際よく取材を済ませ、第23回カロム日本選手権大会が10月17日に変更になったことを告知し、冷たいお茶などもご馳走になり、和気あいあいと自己紹介でうち解け合い、ルール面での宿題をもらい、カロム普及拡大とネットワーク化の新たな展開も示唆いただき、「本家」であることや「道場破り」などすっかり忘却してしまっ、マジ真剣勝負で中学生相手に☆2つを献上するという大盤振る舞いを演じてしまった。

何はともあれこの夜、僕に立ち向かってきた最強の敵は、大津市膳所市民センターの自動ドアだったということで、すべてが夜空に輝く満月のように丸く収まる気がするのである。それにしても、「恐るべし。大津市膳所市民センター！」いや違う。「恐るべし。大津カロム同好会！」

